

## 【言語活動の充実に重点を置いた指導事例】

科 目	商品と流通
単 元	第2章 商品
指導項目	2 商品の特性 (1) 商品の基本的特性 (2) 商品のライフサイクル
指導目標	1 商品がどのような特性を持っているかを、有用性、収益性、環境性の側面から考えさせる。 2 商品のライフサイクルの特徴を理解させ、模擬販売戦略会議を実施して企業の商品戦略や商品市場の特徴を考察させる。
指導方法	1 商品の顧客満足度についてのアンケートを実施し、分析した結果を発表させる。 2 商品販売戦略会議を模擬体験することにより、商品のライフサイクルに応じて販売戦略が練られていることを理解させる。

	指 導 内 容	主 な 言 語 活 動	
事前準備	1 身近な商品を選び、商品ライフサイクルにおいて、どの期間にあてはまるかを考えさせる。 2 販売戦略会議に必要なプレゼンテーション資料を作成させる。	・具体的な商品の事例により、分析結果を説明できるようする。	
導入	1 社会生活において商品が必要な理由を考えさせる。 2 身近な商品について、ライフサイクルと関連づけて説明する。	・積極的に挙手をして発言することを促す。	
展開	1 商品の特性 2 商品のライフサイクル (1) ライフサイクルについて (2) ライフサイクルの実際 (3) 販売戦略会議 ア 導入期の商品 イ 成長期の商品 ウ 成熟期の商品 エ 衰退期の商品 (4) 質疑応答・評価	・プレゼンテーションにより分析結果を発表する。 ・ロールプレイングの手法を利用して、模擬会議を行う。 ・戦略を支持するかどうか、評価する。	
まとめ	商品には長短の差はあれ、ライフサイクルが存在し、これによって商品市場が拡大し、経済成長の基盤になっていることを確認する。	・感想を発表する。	
評価	関心・意欲・態度	身近な商品の市場特性について、関心を持って調査研究に取り組んだか。	A・B・C・D
	思考・判断	ライフサイクルの各時期において、どのような販売戦略が求められるかを考察できたか。	A・B・C・D
	技能・表現	調査結果を明確に伝えることができたか。	A・B・C・D
	知識・理解	有用性とライフサイクルの意味を理解したか。	A・B・C・D

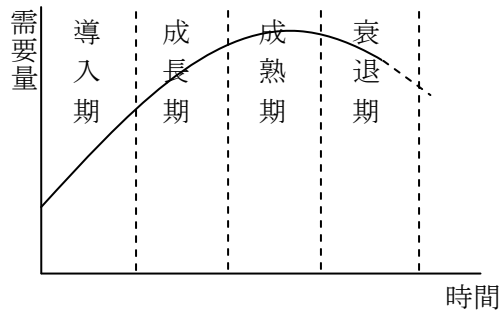
参考資料等

【板書例】

1 商品の基本的特性

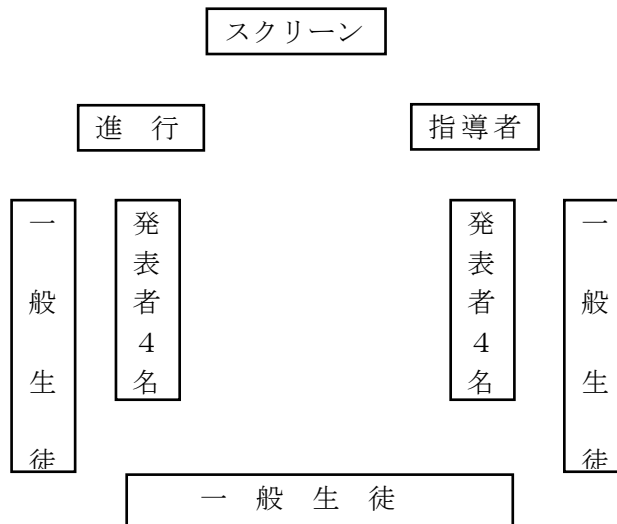
商品は、 {  
・消費者の生活を豊かにし、満足感を与える。→ 「有用性」  
・企業に利益を生み出させ、企業活動を維持させる。→ 「収益性」  
・環境保全に配慮しなければならない。 → 「環境性」  
(エコマーク・グリーン購入)

2 商品のライフサイクル



【販売戦略会議】

《教室配置》



《会議の進め方》

- 1 係分担をする。(進行役1名、各期間担当2名ずつ、計9名)
- 2 会議を進行する。
  - ア 会議の目的を確認する。
  - イ ライフサイクルの各時期に該当する商品の販売戦略を発表する。(プレゼンテーションを活用する。)
  - ウ 質疑応答をする。
- 3 一般生徒による評価を行い、それぞれの戦略の課題を明確にする。
- 4 指導者がまとめをする。

